

次の活性化に

期待しています

有識者の代表で、前橋工科大教授の湯沢昭さんにお話を伺いました。湯沢さんはコミュニティバス導入推進委員会や都市交通ワークショップなどのメンバー。市街地活性化研究会の代表なども務め、マイバスの導入に深く関わっています。

マイバスの大きな特徴は、銀座通りを走っている点です。それに加え、今までバスが走っていない地域を走っていること、二十分間隔の運行という便利さ、百円という値段の安さ

などでしょうか。そして何よりも、市民が参加して、市と市民が共同でつくり上げた、画期的なコミュニティバスという点です。

わたしが工科大の学生の協力で行った調査では、予想よりも利用者が多かったといえます。マイバスを導入する前の試験運行で行った調査では、一便当たりの平均乗車人数は四〜五人でした。しかし、現在マイバスには平均八人乗車しているという結果が出ています。傾向としては六十歳以上の人の利用が多いですね



湯沢 昭さん 52歳

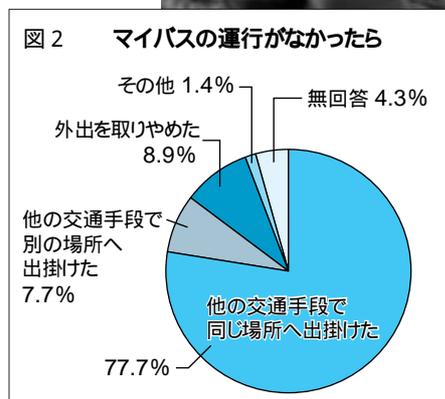
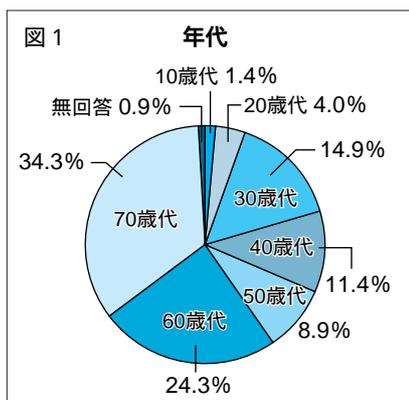
朝倉町四丁目・前橋工科大教授



前橋工科大の学生が利用者アンケート

1. 交通弱者には大変便利だということです。それと、意外にも三十代の女性も多い。これは、お母さんが子どもと遊び感覚で乗っているということだと思っています。また、この地域のバスや中心商店街の潜在需要（今まで買い物に出掛けたくても交通手段がなく出掛けられなかった人の数）が大きいということも分かりました（図2）。

運行が始まってから半年。この間に中心市街地の商店主の意識が変わりつつあると感じます。街も自らの



努力で変わらなければいけないという意識が加速されているように思いますね。マイバスが次の活性化のきっかけになればと期待しています。

ただ、課題もあります。まず、マイバスの知名度はまだ低いようです。また、乗降客の多いバス停が一カ所に集中していて、バスを降りた後に街の中を歩く人が少ないことなども街を活性化させる上での課題です。さらに、マイバスをもっとうまく活用できるよう、街の構造そのものも変える必要がありますね。

今後は活性化のためのフォーラムなどを開いて、マイバスの抱える課題などを議論したいです。

いずれにしても、マイバスが定着するには一年くらいかかると思いますが、今あるデータだけで判断するのではなく、「長い目で見る」ということが必要です。